

第4波に備える本県の新型コロナ対策 ①

◆「早期検査」「早期入院」「早期治療」の鳥取方式の徹底

- 身近なかかりつけ医等で検査を実施していただくことで感染を早期に探知
- 診療所での抗原検査キットによる検査実施、病院へのPCR等検査機器の導入を引き続き支援
- 陽性者の家族等は即日検査し、翌日以降、職場や利用施設も濃厚接触者に限らず幅広く検査
- 陽性者は全員、即日又は翌日入院(宿泊療養は入院後に判断)
- バイタルデータ測定、CT画像診断などで必ずメディカルチェック

診療・検査医療機関数

[人口対比] **全国トップ**

(308機関/R3.4.1現在)

陽性率の低さ

全国トップ

(0.5%/R3.3.26までの累計)

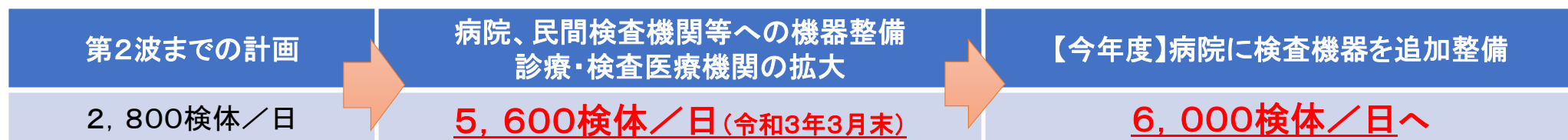
最大確保病床数

[人口対比] **全国トップ**

(321床/R3.4.1現在)

◆入院受入れ体制の充実

- 入院患者数や感染発生動向を見ながらコロナ患者用の即応病床を機動的に確保し、救急や他の疾患等の患者に対する必要な医療を両立しつつ、引き続き最大確保病床の増加を図る
- 医療機能(重症病床、中等症病床、回復患者受入れ、宿泊療養等)の役割分担を改めて確認し、病病連携によるコロナ患者や回復患者の円滑な転院調整を促進



区分	～令和3年3月	令和3年4月1日～
最大確保病床	[7月末] 17病院 313床 ⇒ [2/8] 18病院 317床	18病院 321床
現時点確保病床	[11/1]170床 ⇒ [12/16]196床 ⇒ [1/2]224床 ⇒ [1/7]242床 ⇒ [2/8]247床 ⇒ [2/22]218床 ⇒ [3/1]198床	感染者急増を踏まえ 前倒し確保を調整中

※コロナ感染を疑う精神疾患患者専用病床を1床確保(2月8日～)